

## 第15回 COVID-19が“株式オプション”を連れてきた



2021年の夏、蔓延していたCOVID-19が一旦収まり、ロックダウンが解除されて、アメリカの経済が急激に回復し始めたころのことです。

アメリカの企業に勤める長男から、家族LINEにメッセージが届きました。ちょっと一杯ひっかけたようなルンルン気分の言い回しに続いて、「先ほど会社のボスから電話があって、technical leadershipのある従業員に特別ボーナスを支給することが決まって、お前が選ばれたよ。おめでとう♪♪！ だってさ」と。みんなに「ボーナスの金額、どれぐらいやと思う？」と質問が続きました。

どうやら、ボーナスとして、時価で相当額の自社株をオプションでもらえるらしいとのことでした。ということで、親・弟姉妹入り乱れて、あれを買いたい、これを買いたい、プールを作ろう、老後の資金だね、と彼が受け取る株式オプションをネタに話が盛り上がりしました。

今回は、パンデミックで飛び交った、謎の株式オプションのお話です。

\*\*\*\*\*

どうも、もらった株式オプションは、将来期日が来たら売却できるらしいことが分かりました。彼の場合は、オプションを貰ってから2年後には、もらった自社株の半分を売却できて、4年後には残りを売却できるそうです。ということは、売却する時に、勤めている会社の業績が上がって株価が2倍になっていたら、2倍のボーナスがもらえることになるんですね。「すごい！一生懸命働こう！」とやる気が出ます。

が、研究者の長男がどんなにシャカリキに働いても、会社の株価が上がるなんてことは絶対ありません。もし仮に、彼が取締役だったら、「目指せ、株価2倍！」なんて皆にハッパをかけて頑張るかもしれませんが。

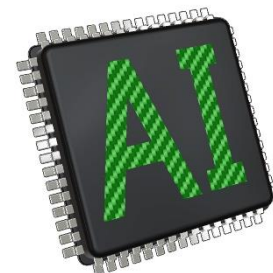


では、会社はどんな目論見で彼に株式オプションを贈与したのでしょうか？

ちょっと待てよ、売却条件があったな。  
売却可能になる時が来る前に会社を辞めたら、  
彼は株式を売却することができません。まる損です。  
でも、4年以上働き続けたら、全株売却できます。  
ということで、会社は、株式オプションで、  
長男に4年以上働き続けろと言いたいのかもかもしれません。  
でも、彼が長期間働くことで、会社はどんなトクをするのでしょうか？

\*\*\*\*\*

長男の仕事は、「産業の米」といわれる半導体に関する研究です。  
日本も、過去には世界有数の半導体生産を誇った時期もありました。  
しかし、その後、安価な労働力を背景に、  
東アジアが世界の半導体生産の中心になりました。  
そんな中、COVID-19が襲来し、欧米では一斉に産業活動が沈下しました。



しかし、翌年の2021年の夏にはパンデミックが落ち着き、  
一斉に経済活動の縛りが緩くなりました。  
こうして、欧米を含む多くの国で産業活動が一斉に回復して、  
半導体の需要が世界レベルで増大しました。

しかし、半導体の大半を製造する東アジアでは、COVID-19が蔓延し、  
半導体の供給が著しく低下しました。  
こうして、半導体の需要に供給が追いつけない状況が続きました。

この世界規模の深刻な半導体不足を解決するために、  
アメリカ政府は国内の半導体産業の再興政策を打ち出しました。  
大々的な「バイデン資金」の投入です。  
その結果、企業は自前の半導体研究の強化や再開に乗り出したのです。  
これが、巡り巡って長男のボーナスにつながったとみています。  
バイデンさまさま <m(\_ \_)m>

パンデミックの前は、世界のコンピューター研究は、  
量子コンピューター開発が先導していました。  
一方の半導体研究は、先細りだと見向きもされませんでした。  
長男もいつクビになるかと落ち込んでいました。  
しかし、上で述べたような事情で、半導体研究が再びもてはやされ、  
世界の半導体研究者は引っ張りだこになりました。  
長男が所属する会社でも、「半導体景気」で湧き上がっているかもしれません。  
「待てば海路の日和あり」ですね。

\*\*\*\*\*

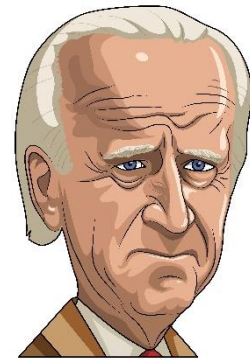
株式オプションには、取締役や従業員に  
「目指せ！株価2倍」とか「がんばれ！勤続4年」とかの  
強力なインセンティブ効果があります。

では、兵庫医科大学で研究を推進するインセンティブには  
何が相応しいのでしょうか？

高額な報奨金かな？それとも教育の免除かな？いやいや、診療の免除やで。  
ちやうちやう、アドミニストレーション免除がいいんじゃないですか。  
いっそのこと、サバティカル（第6回参照）付与なんてどうでしょう……

夢は膨らみます……で、  
原資は？……

「バイデン様〜〜っ!」、「知らん!」。ちゃん♪ちゃん♪



著作者：brgfx / 出典：Freepik